

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
(株)A	常時雇用 3人 臨時雇用 5人	埼玉県北本市	農業経営の法人化	専門家派遣回数 2回

### 相談内容・現状課題

#### ■相談内容

経営継承を契機に、地域の農地を集積して露地野菜を中心とした経営を行っているが、更なる経営発展のため、農業経営の法人化を行い、規模拡大、経営高度化、雇用確保等を進めたいので、法人化、経営改善に向けたアドバイスが欲しい。

#### ■現状課題等

- ・相談者は地域有数の規模となる露地野菜＋水稲の経営を展開しており、野菜は地元スーパー等で販売。
- ・大規模経営に対応した経営体制の確立が求められる(家計と経営の分離、役割分担が必要)。
- ・規模拡大に向け、優良人材の労働力確保、定着が必要。そのための労務管理面での知識習得、体制整備が必要。
- ・相談者は法人化を進めたいが、家族内で疑問、不安の声があり意識統一が図られていない。

### 相談所の支援体勢・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

#### ■支援内容

税理士、中小企業診断士、行政書士、社会保険労務士、普及センター(2名)計6名の支援チームを編成し、以下の支援を実施。

1. 中小企業診断士による支援
  - ・経営概要の確認
  - ・法人化の必要性、メリット・デメリット
  - ・家族内の経営発展の意識統一の必要性
  - ・雇用確保等における法人化の有効性
  - ・相談者の経営状況、今後の経営発展方向や問題点を踏まえ改善点を助言
2. 税理士による支援
  - ・税制面から見た法人化の必要性、メリット
  - ・行政書士等との連携による定款記載内容の検討
3. 普及センターによる支援
  - ・営農技術支援のほか、相談者と専門家との調整役としての意識付けや意向確認など

当初、法人化には家族の理解や同意が得られていなかったが、支援を通じて経営面・税制面でのメリットを理解いただき、法人化に向けた合意形成を進めることができた。

### 支援の成果・その後の状況

#### ■支援の成果・その後の状況

専門家からの助言によって法人化に対する理解が進むとともに家族の不安も解消され、令和元年10月、一戸一法人形式での株式会社設立に至った。

今後は法人経営体での雇用確保・農地集積を進めるとともに、労務管理などについて実践に取り組む予定。



代表(中央)と従業員の皆さん

#### ■コーディネーター所感

相談者は、以前から「地域農業の核」「若手農業者の目標」となるべく、法人化による経営発展を志向していたが、イメージ先行で具体的な内容の検討や家族内意識統一などが進まない状況にあった。

今回専門家を含めた支援チームが支援を行ったことで法人化を行うことができた。今後の更なる経営発展を期待したい。